

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
1	上幼稚園と上小学校の施設統合の経過と移転後の跡地利用方法について	<p>平成28年1月に策定した「秦野市公立幼稚園運営・配置実施計画」において、上幼稚園は、全園児数が10人を下回るなど園児数が減少し、幼児教育上必要な集団性の確保が困難なことから、平成29年4月から上小学校に施設統合し、幼小一体化施設とすることで、集団性を確保するとともに、幼稚園と小学校の連携による特色ある学校づくりを推進することとしました。</p> <p>平成28年2月及び6月に保護者への説明会を実施するとともに、小学校及び幼稚園の教諭、保護者代表などで組織する検討会を設置し、一体化に伴う施設整備や学校づくりについて、調整及び協議を行っているところです。</p> <p>次に、上幼稚園の跡地利用につきましては、市街化調整区域ということで土地利用の制約があることや建物が37年が経過していることなどを踏まえて、現在、教育委員会内で検討しているところです。今後、市長部局とも調整しながら、地域の活性化につながるような活用方法も含めて検討していきたいと考えています。</p>	教育総務課長	上幼稚園を上小学校に移転させ、平成29年4月1日から予定どおり施設の一体化を図りました。	教育総務課
2	<p>上地区の新東名インターチェンジの出口を出た先の246号線の渋滞が考えられる。その影響で菖蒲の信号から三廻部方面・堀山下、権野モータースまでの間が抜け道となり、交通量が非常に多くなります(現在も朝、夕は交通量が非常に多い)。また、歩道が一部しか設置されていないため、歩行者が危険にさらされるのではないかと。</p>	<p>ご指摘の道路は市道18号線でありまして、地区と地区を結ぶ主要な道路であり、併せて交通量が多いのですが、上小学校への通学路となっております。</p> <p>通学路の指定になっている区間につきましては、過去からの歩道設置や、グリーンベルト(イメージ歩道)設置を行い整備がなされております。</p> <p>残りの区間(菖蒲自治会館から農協に上支所まで)約500mは、子どもたちは通学に使わないのですが、歩道はありませんので、新東名ができて、現在の東名とで246号線を使う交通量が実際は分散されるということになると思いますが、現在でも交通量が多いので、黄色いセンターラインを引いて交通の安全を確保しています。今後の交通状況や歩行者の利用状況等を踏まえて、地区の地元要望等を受ける全体の中で調整をして注視して行きたいと思っております。</p>	建設管理課長	当日の回答と同じ	建設管理課
3	<p>四十八瀬川の下流、特に右岸については、一部は堤防に山が付いている状態の「山付き」といわれ、山の部分が氾濫を防ぐ自然の堤防という扱いです。あえて自然の堤防があるのに、さらに堤防を設置するということについては河川管理者からは考えていないということでした。</p> <p>また、対岸に渡れる橋の設置については、水無川にあるような飛び石のような小さな橋のイメージだと思いますが、河川管理者からは公益性がなくてはならないので、設置する必要は無いとわけております。</p> <p>堤防の設置や橋の設置は、ご要望にはお応えできませんが、付近に住んでいる方は、ここは通れないと分かっていますが、中には知らずに山の方から渡って来られる方もいますので、その方には「ここから先は通れません」というような注意看板、迂回ルートの案内看板の設置について、秦野市の関係部局と設置の可否、表示内容を検討させていただきたいと県の管理者である平塚土木事務所から回答がありました。</p>	<p>四十八瀬川の下流、特に右岸については、一部は堤防に山が付いている状態の「山付き」といわれ、山の部分が氾濫を防ぐ自然の堤防という扱いです。あえて自然の堤防があるのに、さらに堤防を設置するということについては河川管理者からは考えていないということでした。</p> <p>また、対岸に渡れる橋の設置については、水無川にあるような飛び石のような小さな橋のイメージだと思いますが、河川管理者からは公益性がなくてはならないので、設置する必要は無いとわけております。</p> <p>堤防の設置や橋の設置は、ご要望にはお応えできませんが、付近に住んでいる方は、ここは通れないと分かっていますが、中には知らずに山の方から渡って来られる方もいますので、その方には「ここから先は通れません」というような注意看板、迂回ルートの案内看板の設置について、秦野市の関係部局と設置の可否、表示内容を検討させていただきたいと県の管理者である平塚土木事務所から回答がありました。</p>	国県事業推進課長	<p>「ここから先は通れません」の注意看板の設置について、四十八瀬川堤防には、平塚土木事務所にて設置済み。</p> <p>市道18号線と市道911、912号線交差点部での看板設置は、担当課より、他の歩行者通路との横並びを考慮し、ここだけ特別扱いは出来ない為、設置不可と回答あり。</p>	国県事業推進課

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
4	上地区活性化のために里地里山、絶景な景観を眺めながら散歩ができる遊歩道のコースを作って多くの人が集える場所を作ってもらいたい。	<p>上地区には、豊かな自然と日本の原風景とも言える里地里山の景観があり、観光振興、地域振興の観点からその潜在能力は高いと認識しています。観光課では、「花のある観光地づくり推進事業」として遊休農地に菜の花等の植栽を進めているほか、秦野市観光協会が事務局を務める、秦野市観光ボランティアの会では、彼岸花の季節などを中心に、定期的に上地区におけるハイキング企画を実施しており、参加された方からは好評を博していると聞いております。</p> <p>一方で、これまで観光課での施策は、蓑毛地区や鶴巻地区において、地元の方々の地域力、市民力を活用し、その協力を得ながら、協働により散策コースの策定や散策マップの作製を行ってまいりました。また、これらの地区では、地域ならではの祭りや、地域資源を生かしたウォーキング等のイベントが開催されるなど、行政の一方的な支援だけではなく、地元の方々が地域を盛り上げるために尽力されています。</p> <p>財政状況が厳しい中でのインフラ整備を直ちに行うことは難しいと考えますが、地域の方々と協働により、上地区にある地域資源を最大限に活用した観光客を温かく迎え入れられる誘客策をともに考え、活性化につなげてまいりたいと考えています。</p>	観光課長	当日の回答と同じ	観光課
5	鳥獣被害で荒廃地が増えている。今年は特にイノシシ、シカ、ハクビシン、アライグマの被害が多く、作付をあきらめる人が増えています。そこで、現在禁猟区になっているところを見直し、動物が人里に近寄らない対策を強化してほしい。	<p>禁猟区の見直しについてのご要望でございますが、現在、上地区で銃猟禁止区域は、大きく3つございまして、1つが上小学校南側に県で定められる銃猟禁止区域があり、ここでは一般猟はできません。ただし、有害鳥獣の駆除はできます。もう1つが、希少鳥獣(オオタカ)生息保護のための禁止区域が八沢の一部と三廻部と柳川の間にあります。3つ目として、鳥獣保護法で定める人家から200m以内は銃を撃てないということです。</p> <p>大きく3つの内、ご要望は2つ目のオオタカ生息保護のための禁猟区域を縮小してほしい、あるいは無くしてほしいということだと思います。前々から私どもの仕事で、あるいはJAからもオオタカ保護のための禁猟区を無くしてほしいと要望をいただいていることは承知しております。ただ、オオタカの営巣期間であります2月から8月の7ヶ月間は一般猟、もちろん有害駆除もできません。残りの5ヶ月は自由にできることになっております。地元からの声の前々からあると承知している中で、以前から県へ何度も区域を縮小してくれないかという要望を出していたところ、今年度から少し縮小することができました。具体的に太平洋ゴルフコースの東側、上小学校の西側。ただ、禁猟区域は、県のオオタカ保護指針がございまして、オオタカへの配慮が守られているので、全廃は今の段階では難しいと思います。環境省では、最近オオタカが日本全国で安定して増えてきたということで、レッドリストから除外されるだろうという話もあります。こういった情報を収集しながら地域の現状を踏まえた上で引き続き解除につきましては、県と協議していきたいと思っております。</p>	環境保全課長	当日の回答と同じ	環境保全課

質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
市政全般についての意見交換				
	<p>公共施設を使って高齢者の方が生き甲斐や健康づくりをして、悪い効果があるはずは無いです。ただ、例えば具体的な数字で言いますと、先ほど平塚市の例をご紹介いただきましたが、平塚市では市民1人当たりの公民館の利用回数は秦野市よりも多いので、活発に利用されているのです。ところが高齢者の医療費に目を向けると、秦野市民1人当たりよりも平塚市民1人当たりの方が高いのです。逆に伊勢原市では公民館の利用頻度は秦野市よりも低いのですが、高齢者の医療費は秦野市よりも低いのです。やはり、小さな町や村で、そこの中の公共施設が住民の皆さん全体の大きな活動の場になっていると、大きな効果を生み出せると思うのですが、高齢者の方の生き甲斐や健康づくりの活動の選択肢は沢山ございます。色々な面で高齢者の方1人1人が生き甲斐を持ってやっていくというトータルで考える必要があるかと思えます。公民館を初めとする公共施設だけに頼って、その効果を出すというのは、実態では難しいものではないかなと考えておりますので、ご理解をお願いします。</p>	公共施設マネジメント課長	当日の回答に同じ	公共施設マネジメント課
<p>6 公共設備の利用維持管理費だけを計算したものなのか。参加するまでの交通費、洋服、美容室代等は加味されていないのか。 3、40年前、他の市で高齢者が引きこもり、健康保険が上がったらしいが、市長が高齢者を外へ呼び出そうと何かイベントを行い、保険料が3割削減されたという。今後、介護保険、健康保険は5年で3割ぐらい上がると思うので、今までの統計をとって、5年先10年先に見直してほしい。 公共施設利用料を上げるのではなく、施設を利用しなかった3割の人をどうやって元気にするかを考えるのが得策ではないか。回答を求めるわけではなく、要望。</p>	<p>私からも1つお願いしたいのですが、今までカルチャーパークは陸上競技場、テニスコート、野球場とスポーツをする人が多く使っておりますが、今回大幅に直して、高齢者から小さい子どもたちまでが使える総合公園という形に衣替えをしました。その1つの例でバラ園を作りました。バラ園はよく言われるように維持管理が難しいのですが、16万8千人の秦野市民が楽しめる場所で、香りでも花を楽しむことができます。市が責任を持って整備しましたが、必ず10年、15年後にはまた、直さなければならない時が来ます。そのためにちょっとしたご寄付いただきやすいように、寄付ポストを立てております。野球場、テニスコート、文化会館、みなさんによって支えられる公共施設の維持管理をこれからはしていかなければなりません。皆さんご承知のとおり、博多で陥没事故が起り、我が秦野市も水道を自前やっておりますと、漏水というのがあります。河原町の交差点で漏水箇所を素早く見つけることができまして、真夜中に一所懸命工事をしたのですが中々難しい工事でした。こういった水道でありますとか下水道、道路は直さなければ、すぐにでこぼこになってしまいます。公共施設をしっかりと皆さんのご納得いく中で直していくためにも、税金で補填するものと、一部使っていただく人に負担いただく。私が10年間市長を務めてきましたけれども、「無理はしちゃいけないよ、無理をすると沢山の人の痛みを感じさせてしまう、悲しい思いをさせてしまう、しかし、無駄はしっかりしないようにしよう」と言って、私が来たときには財政調整基金、家で言う貯金、会社で言う社内保有金ですが、3億円しかございませんでした。しかし、今は前年度決算で42億円くらいかたち上っております。何でも反対ではなくて、次にどうしたらいいのか、将来のためにどういう風な形でみんなで一緒に共に働いていけばいいのかを考えながらご提案させていただきたいと考えております。自分の家のお財布、自分の家の建物の痛みと同じような形で、将来を考えていただけると大変ありがたいと思いますのでお話をさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p>			市長 (公共施設マネジメント課)

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
7	<p>秦野市の一斉美化清掃を年2回、柳川地区でも実施しているが、非常に高齢化が進んでおり、1人1人の面積も非常に多い状況。市道については斜面での作業が多く、新しく引越してきた方々は農業経験が無く、草刈機等を使えないので、ごみ集め等に携わってもらっている。先方に立ってもらうのは、高齢者が慣れているのでやってもらっているが、徐々に高齢が進み、こういう訳にもいなくなっている。また、新東名工事で引越す人が多く、厳しい状況。虫のいい話ではあるが、市で主要道路だけでも専門の方を雇って市内一斉美化清掃を変わりにやってもらえないかというお願い。</p>	<p>地元の皆様のボランティア的なもので、道路に関連する樹木、農路の草刈をやっただいて誠にありがとうございます。市内全体でそうなのですが、今まで協力して地元の方で枝や草刈りをやっていたが、徐々に高齢化になり、市の方でやってくれないのかという、今の例での電話がだんだん増えてきております。市の直営で、やれる範囲で市の若い職員がやったり、作業員さんでやったりしております。なるべく予算的に、委託にできればいいのですが、市内全体の予算調整になり、少しずつやれればと思っていたのですが、中々、美化清掃の期間にタイミングよくできるかという、お約束はできません。ひどくなってきて危ない状況になれば、その都度連絡を入れてもらって、市でやれる範囲で対応して、全てすっきりとはいかないのですが、最低限危なくないような形をとっていき、地元の方々と協力して、市も決してやらない訳ではなく、徐々にやっていきたいと思っております。全然連絡等は構いませんので、市の建設管理課へ入れていただければと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>大切な質問をいただいたと思います。時代が変わりますと、今までできていたことができなくなります。昔は私が市議員になった41年前頃は、市から材料だけ貰って、皆さんで道普請をしていただいた時代もありました。しかし、今ご発言いただいたように、時代が変わりますと、できることもできなくなってくるのは間違いないだろうと思っております。担当課長とするば予算の範囲内のご質問にしか答えられないと危惧したと思うのですが、私たち市役所全体の中で、高齢化というものをしっかりと捉えて、次の時代に合った、今の時代に合った政策を作っていきたいと考えております。</p>	建設管理課長	<p>市内一斉美化清掃は、地元住民の皆様でできる範囲を無理なく実施していただく行事と考えており、その範囲は時代や状況により変化するものと思われます。</p> <p>市では市道や水路、市立公園といった管理施設において、一斉美化清掃の範囲とされなかった部分について、交通安全の確保や利用者の利便性、街の美観の観点から必要に応じ順次清掃等の対応をしていきたいと考えています。</p>	建設管理課
8	<p>公共料金の話になるが、あくまでも提案として理解してほしい。提案された金額はやむを得ない数字だと思うが、利用の設定について、現在部屋の利用が1時間単位で設定されているが、これを30分単位で料金設定したらどうかと思う。例えば1時間30分使用しても2時間分の料金を支払うのが現状なので、30分単位の設定であれば、新しい改定案を入れたとしても、利用者としてはあまり負担が掛からないと思う。難しいかもしれないがこういった考えもあるので、検討してほしい。</p>	<p>建設的で前向きなご提案をありがとうございました。今日説明の場では、従来の料金と比較し易くするように、1時間単位の金額でお示しておりますけれども、まさにおっしゃったような、利用は30分単位でできるんだけど、1時間単位でしか料金を払えないといった場合には、例えば前後15分ずつあれば、準備も片付けもできるんだという利用も沢山いらっしゃると思います。ですから、できるだけ引き上げ後でも、活動費を抑えていただければ、実際に条例案として提案するときには、30分単位の料金制とすることを考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>	公共施設マネジメント課長	当日の回答と同じ	公共施設マネジメント課

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
9	<p>上地区で市街化区域のみあるところは、菖蒲第4自治会だけ。四十八瀬川から水路を設けてもらい水は引いているが、その他に市街化区域ということで公共下水道も付設して引いてもらっている。家で支払っている水道料金7,600円程度、下水道料金10,600円程度。調整区域の方は分からないと思うが、固定資産税の他に都市計画税が掛かるという背景をまず皆さんに分かってもらいたい。</p> <p>公共下水道を付設してある家庭はどの程度あるのか。付設されている個人の家が少なければ、県としても付設しただけでは管理できず、使用者の料金を上げるしかないと思うので、年々上がっている。公共下水道料金について市はどの程度干渉しているのか。できれば条例化してもいいのではないか。</p> <p>本来は公共下水道が敷かれているので、水路が無くてよいと思うが、菖蒲の昔のバス停の両側に水路がある。その水路は大雨が降った時等、砂利が詰まり止るので、自治会長中心に年15回程度除いている。止まると、蕎麦や魚の粗など流れてくるので、まだ公共下水道が付設されていないところがある。また、20年前頃までは、砂利等上げた時に市で片づけをしてくれていたが、最近は無く、また浅くなっている所もあるので、現場を見てもらって、対応してほしい。</p> <p>高齢化による買い物弱者の問題。松田町では、ヤオマサが中心となり販売車で寄方面を周り、料金は品物に10円だけ乗せて販売している。こういったことを調べてもらって、できれば、三廻部、柳川、菖蒲方面も周ってもらえるように調整してほしい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。公共下水道の普及の関係ですが、平成27年度内で水洗化率というのですが、水洗化入口を基にした接続の割合は90.1%となっております。平成25、26、27年度と90.0%から90.1%と中々伸びていない状況ですが、何とか公共下水道エリアになり共用を開始した区域について、皆さんのお家で公共下水道に接続していただきたいと、共用開始になりましてからは、下水道普及員が2名いるのですが、各お宅を周り、3年以内に繋いでもらいたいとお願いしております。接続に当たっては、市の奨励金、借入れた際の利子保証の制度などありますが、このご説明をしながら何とか上がるように努めておりますが、中々上がっていない現状を踏まえまして、昨年度、市街化区域以外の公共下水道の整備は概ね完了いたしましたので、28年度から市街化区域内は未整備箇所が残っている場所、市街化に接している調整区域の場所の公共下水道の整備を進めていくことになり、28年度から32年度の間にする計画となっております。節目といたしますが、大体整備が終わったという時期に来ましたので、今後はいかに繋いでいないところに繋いでいただくかが大きな課題です。色々検討して普及率の向上に繋がるような策を実施していきたいと考えております。</p> <p>また、水路の水質の関係は、新聞にも載りましたが鶴巻地区で誤接続が発見されまして、汚水が下水管に繋がっていて、大根川に流出していたということが分かりました。直ぐに繋ぎ替え工事は実施しましたが、これについてですが、場所場所によって疑われるような所があれば、現場をよく調査して対応していきたいと考えております。</p>	上下水道局 営業課長	当日の回答と同じ	営業課
		<p>建設部で水路を管理しているので、お答えします。地元の方々に、雨が降ったときに、今の現況ある水路を有効に使えないといけないと思います。申し出がありましたように、水路の状況を現地で一緒に確認したいと思います。吉野宛まで結構ですので、現地の立会いをしていただければ一緒にお話を聞きたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。</p>	建設管理課 長	<p>御指摘の側溝については、平成28年度中に工事を発注し平成29年3月30日に完成しております。工事施工中は御協力賜りありがとうございます。</p> <p>今後は上流から流れてくる支障物による側溝のつまりなどにつきましては注視してまいります。もし、お気づきの場合、通報等御協力をお願いいたします。</p>	建設管理課
		<p>買い物弱者ということでお話がありましたが、以前はJAが各地域を周らされていたと記憶しておりますが、事業が廃止されてから、中々高齢になられて買い物へ出られないという人がいらっしゃるか私どもも感じているところでございます。まずは、松田町に確認してみたいと思っておりますが、どう対応が取れるかを含めて検討したいと思いますのでよろしく申し上げます。</p>	政策部長	<p>松田町に確認しましたが、お話の移動販売の拡大については、事業の実施に当たり松田町と松田町社協が初期費用の一部を負担しており、また、事業企画や進捗を管理している協議会は松田町の関係者で構成されていることから実施は難しいとの見解でした。</p> <p>買い物に困難になっている高齢者に対しては、現在、ヘルパーによる買い物支援の他、宅配サービスなど地域の資源を活用し支援しております。しかし、今後、買い物支援が必要となる高齢者が増えることが予測されており、買い物支援は、高齢者の生活を支援するための課題の一つとして認識しております。既にある宅配サービスや移動販売などの情報を集約するとともに、今後どのような買い物支援が実現可能か検討する際には、地域の皆様の御意見も伺い進めていきたいと考えております。</p>	高齢介護課

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
10	<p>道路清掃について、菖蒲第1自治会でも高齢化が進み、急斜面のところ、アジサイのあるところは年数が経ち株が大きくなり苦勞している。自治会でやれるゴミ広い等はやるので、できれば市の方にやってもらいたい。</p> <p>246の菖蒲の信号から登ってきて、ゴルフ場の入口から登るところまで道路に木の枝が覆いかぶさっている。台風シーズンになると、枝や葉が散乱して車の通行の邪魔になる。このシーズンになると落ち葉で物凄いわ大変。ゴルフ場の入口から100mくらい上までの間で、軽トラ3台くらい落ち葉を拾い集めているような状況。</p> <p>また、せっかく外灯にLEDを付けてもらったのに、枝と葉で路面が照らされていない場所が何件かあるので、何とかしてほしい。</p> <p>先週、小学校を避難所にする運営マニュアル説明会があり、資料を貰ったが、パンチの穴が開いていないので事前に空けておいてほしい。また、ファイルも用意してもらいたい。お金の問題ならスポンサーに頼んでチラシみたいにやるのはどうか。この馬場から降りた旧道の橋で小中学生が通学で使うが、あの橋だけ歩道が無いので、隣に人が渡れる橋があるといいなと思う。</p>	<p>清掃の関係については、場所等を市へ連絡いただければ、現地を見ながらやれる範囲でやります。</p> <p>ゴルフ場へ向かう道の樹木の件ですが、やはり今年も地元から連絡が入りまして、市の管理でない土地がありますので、必ず地主さんへも連絡を入れて、危ないようでしたら暫定的に、直ぐに市が最小の範囲で作業をするのですが、地主さんへ管理して下さい、刈って下さいと必ず連絡を入れるような形をとっております。併せて市でパトロールをしているのですが、見過ごしたりすることもありますので、地元の方がやられている範囲以外で、お気付きがありましたら連絡を入れてもらえれば、直接道路清掃をやっております。橋の件ですが、現地を見ないとですが、中学生の利用状況で、どのくらいの危険性があるのか、あとは橋の歩道の設置、これはかなりの検討が必要ではないかと思われませんが、要望があるということで受けていきたいと思っておりますのでよろしく願います。</p>	建設管理課長	<p>市内一斉美化清掃は、地元住民の皆様でできる範囲を無理なく実施していただく行事と考えており、その範囲は時代や状況により変化するものと思われま。</p> <p>市では市道や水路、市立公園といった管理施設において、一斉美化清掃の範囲とされなかった部分について、交通安全の確保や利用者の利便性、街の美観の観点から必要に応じ順次清掃等の対応をしていきたいと考えています。</p>	建設管理課
		<p>避難所運営委員会の関係でご質問がありましたが、避難所運営委員会を開催しまして、お配りした資料に穴が開いていないということで申し訳なかったです。今後また、実際に来年になって、上小学校で訓練を行っていただくにあたり、詳細の説明会と共に資料をお配りする機会を設けますので、その際にはその点について、十分配慮したいと思いますので、どうぞよろしく願います。</p> <p>LED防犯灯が役割を果たしていないということですが、くらし安全課がLEDを管理しておりますので、どの辺かというのは、通れば分かるかと思っておりますので、個人の枝ということであれば個人の方の了解を得て、周りの明るさを確保するよう伝えますのでよろしく願います。</p>	防災課長	当日の回答に同じ	防災課

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課	
11	鳥獣の問題は出て、山蛭の話が出なかったが、今年の夏に美化清掃の際に、山蛭に吸血された事例が2件あり、山蛭は天敵もおらず殺処分するしか方法がなく、八沢というよりも上地区全体で山蛭に悩まされている。現在も環境保全課から対策や手当ての仕方など指導を受けているが、市長から住みよい環境という話があり、せつかく借家を借りて上地区に住んでくれている人や、外国籍の住んでいる人にとっては、山蛭はかなりショックだと思うので、環境保全課にはさらに手立てをしてもらい、上地区から山蛭が減少したり、出なくなるような指導をしてほしい。北矢名で熊が出た際には、環境保全課で小学校に鈴を持っていき直ぐに対応したというが、この上地区もお忘れなく指導してほしい。	環境保全課長に答えさせるのは酷なので、私からお話をさせていただきます。担当課も一所懸命頑張っております。また議会でも議員の連絡会で他の市町と連絡を取りながら、山蛭をなんとかしようとしていますが、決め手が無いのが、ご発言いただいたところでございまして、悩んでおります。天敵がいないといい、基本的に鹿が山蛭を付けて里へ降りてきたことから、繁殖した訳ですが、鹿の責任でもないです。鹿も食べ物が無くなってということからですし、熊の話もいただきましたが、熊は柿が好物で食べに来るそうです。時代が変わりますと色々な問題が出てまいります。それに対応するのが私の責任でございますので、色々な所に研究を頼んでおりまして、どうしたら効果的な退治ができるのかを含めて、大変高所なご質問ですが、環境保全課としても農産課としても森林づくり課としても頑張っております。我々も知恵を絞りまして、何かいいご発案があれば是非ご提案いただければと思います。先般、茶畑を経営している家にお嫁さんが入られたのですが、山蛭にやられて、ここに住むのは嫌だと、ご家族が苦勞されている話も聞かされました。こういったことにも繋がっているの、役所としても頑張りますが、みなさんの知恵をお貸しいただければと思います。うまい答弁でなく申し訳ございませんが、よろしくをお願いします。				市長 (環境保全課)
12	下水道の先ほどの90.1%とは、ハードの整備率なのか。家庭用接続率なのか。草刈の件について、報奨制度があれば地元の励みになるのではないのか。	水洗化率の90.0%、27年度末が90.1%でして、これにつきましては、公共下水道の処理区域人口のうち公共下水道に接続されている世帯の人口です。分母も分子も住民基本台帳の人口を基にして、算出している水洗化率、公共下水道に繋げているという普及状況の目安となる指標でございます。	上下水道局 営業課長	当日の回答と同じ	営業課	
		地元の方への報奨制度ですが、国県事業推進課から聞くと、県でも最近河川への報奨制度があることを私も今知りましたので、今後の利用の状況とか、制度の始まり等、継続して市でも調査していきたいと思っておりますので、貴重なご意見ありがとうございます。	建設管理課 長	当日の回答と同じ	建設管理課	
	本町とか他の区域で数値が大分異なると思うが、その辺まで細かく調べているのか。	秦野市内公共下水道の処理区を3つに分けております。中央処理区、大根鶴巻処理区(伊勢原に処理をお願いしている)、西部処理区。水洗化率が1番高いのは、中央処理区、次が大根鶴巻地区、西部地区がやはり1番低くなっております。具体的な数字は手元に無く申し訳ございません。	上下水道局 営業課長	当日の回答と同じ	営業課	

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
当日の質疑応答について(地域のまちづくりについて)					
		ご意見ありがとうございます。先程の説明の中でも、お話しさせていただいたのですが、元々幼稚園として造った施設であるので、宿泊施設となると今のままでは、そのまま使うことが現実的にできないので、大規模な改修が必要になってしまいます。 また、法令、土地利用上の規制で、学校施設を宿泊施設へすることができるのかという点もありますので、ご提案として受けさせていただきますが、中々過大が沢山あるというところで、お預かりさせていただきます。	教育総務課長	当日の回答と同じ	教育総務課
13	上幼稚園の跡地利用方法について、遊歩道の話や、観光で集客し秦野をアピールする等の話も出たので、思いつきで申し訳ないが、柳川には簡易的な宿泊施設が無いので、簡易宿泊施設にすることで、遊歩道を作り集客ができるし、農業体験を一般から募集することでもでき、活性化に繋がるのではないかと思ったので、意見を聞きたい。	担当課長から話があり、そういうことになるかと思えます。 1つの例として、養毛に緑水庵という古民家がありました。始めは生涯学習課で預かり、子どもたちの勉強のために扱ったのですが、結果的に維持管理が市では難しく、充分な活用もできませんでしたので、2年半位掛けて、地域の、この今日のまちづくり委員会のような形で自治会も民生委員さん、消防団も色んな方たちに政策面へ入っていただきまして、自主管理をしてもらうことを始めました。市が管理するのではなくて、自由に地元で使ってもいいけれども、きちっとした組織、年間予算を作っていただいて管理をしていただく。今の時期、多分15日号の市広報に緑水庵の写真が一面を飾ると思いますが、これからの1つの考え方、今日これからこの後、公共施設の使用料についてのお願ひも担当課長からいたしますが、地元で皆さんが大事に建物を使っていたらという形になりますと、1つの出口があるのではないかと考えております。いけいけかみちゃん号でも、地域の皆さんのご協力で継続している訳でございますので、市の持っている公共施設をどのように使っていけるのか、今担当課長から話があったように、ハードルはいくつもあります。国から補助金を貰って造っておりますのでハードルはいくつもありますが、しかし地元のためになるということであれば、私は地域の皆さんと一緒に利用方法、活用方法を考えていくことは、やぶさかではないと考えておりますので、どうぞひとつご協力をしていただければと思います。			市長 (教育総務課)